

志賀自然教育研究施設年報

令和3(2021)年2月～令和4(2022)年1月

I. 目標・計画等

1. 志賀施設の目的（設置規定）

- ・研究施設は、高山地における自然科学の学術研究及び学生の実習並びに一般学生及び社会人の自然教育を行うことを目的とする。

（信州大学教育学部附属志賀自然教育研究施設規程（平成16年4月1日信州大学規程第42号））

2. 関連する大学の目標・計画

- ・3社会との連携や社会貢献及び地域を志向した教育・研究に関する目標

【10】 地域の知の拠点として大学の機能強化を図り、地域の諸課題の解決及び地域を支える人材育成等を行い、地域の活性化につなげる。

（信州大学中期目標・中期計画（第3期：平成28年度～平成33年度））

3. 関連する部局事業計画（令和3年度 教育学部、教育学研究科、教育学系）

整理番号 15-1

中期計画 附属学校教員、教職大学院生及び地域の学校教員が共に研修する「学び続ける教員の養成拠点」として附属学校を位置付け、長野県教育委員会と連携して全県から教員を附属学校に受け入れ、校内学習会や公開研究会等を通じて指導的教員としての力量を高め、その人材を各地に還元して教員の力量形成に寄与する。

年度計画 -

部局事業 附属学校園のESD/SDGs推進拠点としての機能を強化し、その成果を県内外に波及することを計画

整理番号 15-4

中期計画 長野県の教育課題（ICT活用教育及びグローバル化に対応した教育等）について、各附属学校園が教育課程に位置付け、教育学部との連携による地域における先導的な教育実践研究を行い、その成果を地域の教員に公開するとともに、教育学部における教員養成カリキュラムの改善に生かす。

年度計画 ESD教育は、SDGsの考えも取り入れながら、各校園で生徒会活動や総合的な学習の時間などでの実践をさらに進め、各校園のWebサイトやESDコンソーシアムを通じ、県内外に発信をしていく。

部局事業 取組の成果を公開研究会、学びのワークショップ等を通じ、広く県内外に発信する。

計画

4. 志賀施設の年度計画（令和3年度）

事業目標 生物多様性の保全及び持続可能な利用に関する調査研究を実施する。

年度計画 ア) 山地における自然科学分野の学術研究の実施

イ) 学生実習および一般学生、社会人を対象とした自然教育の実施

ウ) 志賀高原ユネスコエコパークの持続可能な活動の発展に寄与する教育・研究活動の実施

事業実績 ・志賀施設周辺およびカヤノ平分園において、中・大型野生動物の生息モニタリング調査を実施

・授業科目「環境教育」の自然教育実習を、教育学部一年生全員を対象に実施

・授業科目「環境教育概論」（経法学部）の自然教育実習を実施

・山ノ内町との連携により、ユネスコエコパークに関連する社会教育活動を実施

・志賀高原ユネスコエコパーク地域におけるユネスコスクール等のESD実践を支援

5. エコキャンパス委員会における志賀施設の事業計画（令和3年度）

事業目標 生物多様性の保全に関する教育・研究を推進する。

年度計画 森林および里地里山における生物多様性の保全に関する教育・研究を实践する。

事業実績 ・志賀施設周辺およびカヤノ平分園において、中・大型野生動物の生息モニタリング調査を実施（再掲）

・授業科目「環境教育」の自然教育実習を、教育学部一年生全員を対象に実施（再掲）

・授業科目「環境教育概論」（経法学部）の自然教育実習を実施（再掲）

II. 運営委員会

1. 開催日・場所等

令和3年7月29日（木）オンライン開催

2. 概要

①令和2年度事業報告、②令和2年度決算報告、③令和3年度事業計画（案）、④令和3年度当初予算（案）、及び⑤その他、について審議した。

3. 議事要旨

(1) 令和2年度事業報告について

水谷委員より、施設管理運営状況や、教育研究活動の実施状況について説明があり、審議の結果承認された。

(2) 令和2年度決算報告について

清水会計係主査より報告があった。修繕費の増加等について説明があり、審議の結果承認された。

(3) 令和3年度事業計画（案）について

水谷委員より施設管理運営や自然教育実習、ESD、研究活動等の事業計画について説明があり、審議の結果承認された。

(4) 令和3年度当初予算（案）について

清水会計係主査より、昨年度と同様に新型コロナウイルスの影響によりインセンティブ経費の収入が見込めないこと等を中心に説明があり、審議の結果承認された。

(5) その他

志賀自然教育研究施設アクセス道路の補修について、清水会計係主査より、複数業者への見積を行い、検討中である旨の報告があり、後日メール審議に附すこととした。

4. 運営委員等（以下、いずれも敬称略）

(1) 運営委員

（言語）山本大貴、（社会）篠崎正典、（理数）松澤泰道、（生活）佐藤運海、（芸術）田島達也、（スポ）瀧 直也、（教育）徳井厚子、（教職）宮島 新

(2) 事務局

（副事務長）渡邊拓矢、（管理係）安室 大、（会計係主査）清水英俊、（会計係）花岡拓磨

(3) 施設職員

（施設長）井田秀行、（施設専任教員）水谷瑞希、（技術職員）竹節順治

Ⅲ. 施設管理・園内整備

1. 資料館

コロナ感染拡大防止のため、一般開放を休止した。

2. 屋外展示

志賀自然教育園内及びカヤノ平分園内の自然観察路の落ち葉掃除、側溝整備、笹刈り、階段整備、ロックガーデンの植物への名札つけ等を5月から10月まで随時おこなった。

Ⅳ. 教育活動

1. 大学教育

(1) 環境教育

教育学部1年生全員が必修となる授業科目「環境教育」の自然教育実習を6月26日から7月25日まで9回実施し、244人が履修した(写真1)。実習日程は、すべて前期試験前に設定した。また荒天のため志賀高原での実習が実施できない場合に備え、予備日を設定した(なお本年度には、実習が実施できない日は発生しなかった)。自然教育実習は後述するコロナ感染拡大防止のため、例年よりも短縮して自然観察路をフィールドとした野外実習のみ実施した。



写真1 自然教育実習(6月27日)

コロナ感染拡大防止のため、以下の対策をおこなった。①バスで隣接することなく着席できるように、各回の参加人数を平準化するとともに、すべて大型バスを利用、②開始前の座学を屋外でできるように教材等を変更、屋内アクティビティ実践を取りやめ講義(オンライン)に振り替え、③マスク着用、距離の確保など実習時の三密回避、④実習前期間の検温・健康観察の実施。

(2) 環境教育概論

経法学部3年生以上を対象とする授業科目「環境教育概論」の自然教育実習を7月11、18日に実施し、2名が履修した。

2. 出版

研究業績58号を令和3年3月に発行、関係機関に配布した。印刷部数は400部。

3. 他学部および他大学の施設利用など

コロナ感染拡大防止に伴う宿泊利用の停止により、他大学等の施設利用はなかった。

4. 社会貢献活動

(1) 研修会・観察会等

志賀高原をフィールドとした環境教育やESD/SDGsに関連する学校等への協力、支援を下記の通り実施した(コロナ感染拡大防止のため中止となったものを含む)。

- ・市民向け講演等：4件
- ・学校向け講演等：10件
- ・教員研修等：12件

2021/2/6 令和2年度信州ESDコンソーシアム成果発表&交流会、コーディネーター、信州大学教育学部(長野市、オンライン開催)。

- 2021/4/21 ユネスコエコパークを活用したESD/SDGs研修会（令和3年度第1回），講師．山ノ内南小学校（山ノ内町）．
- 2021/4/21 ユネスコエコパークを活用したESD/SDGs研修会（令和3年度第1回），講師．山ノ内西小学校（山ノ内町）．
- 2021/5/21 山ノ内南小学校COI校外学習，コーディネーター．信州大学工学部キャンパス（長野市）．
- 2021/5/27 総合的な探究の時間特別授業，パネリスト．中野西高等学校（中野市）．
- 2021/6/8 ユネスコエコパークオンライン授業，講師．（オンライン開催）．
- 2021/6/23 ユネスコエコパークを活用したESD/SDGs研修会（令和3年度第1回），講師．山ノ内東小学校（山ノ内町）．
- 2021/6/30 ユネスコエコパークを活用したESD/SDGs研修会（令和3年度第2回），コーディネーター．山ノ内南小学校（山ノ内町）．
- 2021/7/2 志賀高原高原学習事前学習，講師．信州大学教育学部附属長野小学校（長野市）．
- 2021/7/14 信州大学附属松本中学校高原学習，コーディネーター．志賀高原（山ノ内町）．
- 2021/7/19 信州大学附属長野小学校高原学習，コーディネーター．志賀高原（山ノ内町）．
- 2021/8/2 山ノ内町教職員ESD研修会（中止），講師．志賀高原（山ノ内町）．
- 2021/8/5 2021年度ESDティーチャープログラム長野会場（第3・4回），講師．山ノ内南小学校（山ノ内町）．
- 2021/9/2 山ノ内南小学校志賀高原校外学習，講師．志賀高原（山ノ内町）．
- 2021/10/2 2021年度ESDティーチャープログラム長野会場（第5回），講師．山ノ内南小学校（山ノ内町）．
- 2021/10/2 2021年度コンソーシアム第2回学びあいセミナー「信州ESDコンソーシアム成果発表&交流会の学校実践」，講師．宮城教育大学（仙台市，オンライン開催）．
- 2021/10/20 ESD校内研修，講師．山ノ内東小学校（山ノ内町）．
- 2021/10/21 信州大学出前講座「SDGsを達成するために，中学生にできることは」，講師．飯田市立高陵中学校（飯田市）．
- 2021/11/4 信州大学出前講座「動物（サル）と人間が共存できる自然豊かな山ノ内町」，講師．山ノ内東小学校（山ノ内町）．
- 2021/11/13, 14 自然資本を活かした人づくり・地域づくり立山黒部ジオパークESDダイアログ2021（中部地方ESD活動支援センター主催），講師．大山研修センター（富山市）
- 2021/11/19 信州大学出前講座「ESD/SDGsを学び，進めるために」（山ノ内南小学校PTA講演会），講師．山ノ内南小学校（山ノ内町）．
- 2021/11/20 令和3年度第2回志賀高原ユネスコエコパークセミナー，コーディネーター．ほなみふれあいセンター（山ノ内町）．
- 2021/12/21 ユネスコエコパークを活用したESD/SDGs研修会（令和3年度第3回），コーディネーター．山ノ内南小学校（山ノ内町）．
- 2021/12/22 ユネスコエコパークを活用したESD/SDGs研修会（令和3年度第2回），コーディネーター．山ノ内西小学校（山ノ内町）．
- 2021/12/23 ESD/SDGs学校研修会「ユネスコスクールとしてのESD/SDGsの進め方」，講師．根羽村立義務教育学校根羽学園（根羽村）．
- 2022/1/26 【中止】令和3年度第3回志賀高原ユネスコエコパークセミナー，コーディネーター．山ノ内町文化センター（山ノ内町）．

(2) 委員会等

志賀高原ユネスコエコパークの活用・管理運営に関する各種委員会や，その他有識者等として招聘された委員会等に下記の通り参加した。

・各種委員会等：30回

- 2021/2/16 令和2年度中野市十三崖のチョウゲンボウ繁殖地保全整備事業検討委員会，委員．中野市役所．
- 2021/3/3 令和2年度日本生態学会自然保護専門委員会，委員．岡山大学（岡山市，オンライン開催）．

- 2021/3/3 令和2年度日本ユネスコ国内委員会科学小委員会第2回科学小委員会. 文部科学省(オンライン開催).
- 2021/3/23 志賀高原ユネスコエコパーク協議会(令和2年度)第2回幹事会 兼 第3回ワーキンググループ会議, オブザーバー. 山ノ内町役場.
- 2021/4/23 福井県第一種特定鳥獣保護計画(ツキノワグマ)第1回ワーキンググループ会議, 委員. 福井県庁(福井市).
- 2021/4/28 信州・志賀高原から始まる「いのちを守る森」づくり=ABMORI実行委員会, オブザーバー. 山ノ内町役場.
- 2021/5/18 福井県第一種特定鳥獣保護計画(ツキノワグマ)第2回ワーキンググループ会議, 委員. 福井県庁(福井市, オンライン開催).
- 2021/5/24 気候変動適応における広域アクションプラン策定事業中部地域令和3年度第1回自然生態系への影響分科会, 有識者. (オンライン開催).
- 2021/5/25 福井県第一種特定鳥獣保護計画(ツキノワグマ)第3回ワーキンググループ会議, 委員. 福井県庁(福井市, オンライン開催).
- 2021/5/28 令和3年度志賀高原ユネスコエコパーク協議会総会, オブザーバー. 山ノ内町役場.
- 2021/6/16 令和3年度EPO中部・中部地方ESD活動支援センター企画運営会議(第1回), 委員. (オンライン開催).
- 2021/6/20 信州・志賀高原から始まる「いのちを守る森」づくり=ABMORI, オブザーバー. 志賀高原(山ノ内町).
- 2021/7/6 ASPUnivNet 令和3年度第一回連絡会議. (オンライン開催).
- 2021/7/15 福井県第一種特定鳥獣保護計画(ツキノワグマ)第4回ワーキンググループ会議, 委員. 福井県庁(福井市, オンライン開催).
- 2021/8/9 2021年度日本哺乳類学会哺乳類保護管理専門委員会クマ保護管理検討作業部会, 部会員. (オンライン開催).
- 2021/8/19 長野県環境審議会鳥獣専門委員会, 委員. 長野県大町合同庁舎(大町市).
- 2021/9/7 第6回気候変動適応中部広域協議会, 有識者. (オンライン開催).
- 2021/10/15 福井県第一種特定鳥獣保護計画(ツキノワグマ)第5回ワーキンググループ会議, 委員. 福井県庁(福井市, オンライン開催).
- 2021/12/9 ASPUnivNet 令和3年度第二回連絡会議. (オンライン開催).
- 2021/12/9 第三次人と生きもののふるさとづくりマスタープラン策定委員会 第1回専門家委員会, アドバイザー. 鯖江市役所(オンライン開催).
- 2021/12/14 気候変動適応における広域アクションプラン策定事業中部地域令和3年度第2回自然生態系への影響分科会, 有識者. (オンライン開催).
- 2021/12/14 鯖江市人と生きもののふるさとづくりマスタープラン策定委員会 第1回委員会, アドバイザー. 鯖江市役所(オンライン開催).
- 2021/12/15, 16 令和3年度気候変動適応における広域アクションプラン策定事業 第1回全国アドバイザー会合, 有識者. (オンライン開催).
- 2021/12/17 全国ユース環境活動発表大会審査会(中部地区大会), 審査委員長. (オンライン開催).
- 2021/12/23 長野県環境審議会鳥獣専門委員会, 委員. 長野県庁.
- 2022/1/10 さばえのけものアイデアソンII, アドバイザー. 鯖江市役所(オンライン開催).
- 2022/1/20 鯖江市人と生きもののふるさとづくりマスタープラン策定委員会 第2回委員会, アドバイザー. 鯖江市役所(オンライン開催).
- 2022/1/27 令和3年度日本生態学会自然保護専門委員会, 委員. (オンライン開催).
- 2022/1/27 志賀高原ユネスコエコパーク協議会(令和3年度)第1回ワーキンググループ会議, オブザーバー. 山ノ内町役場(オンライン開催).
- 2022/1/31 第三次人と生きもののふるさとづくりマスタープラン策定委員会 第2回専門家委員会, アドバ

イザー、鯖江市役所（オンライン開催）。

5. ユネスコスクール等におけるESD支援

山ノ内町ではユネスコエコパークの理念を次世代に継承することを目指して、すべての学校がユネスコスクールに加盟した。信州大学教育学部ではユネスコスクールでのESD（持続可能な開発のための教育）実践を支援するため、平成29年2月に『信州ESDコンソーシアム』を組織し、志賀施設を中心にユネスコエコパークを活用したESDの実践支援や、普及・啓発に取り組んでいる。

信州ESDコンソーシアムでは、長野県内の学校のユネスコスクール加盟申請の支援やその普及・啓発に取り組むとともに、ユネスコスクール加盟校においてはESD/SDGs教員研修や校内研究会・授業公開等の実施・支援、学習実践におけるコーディネーターや講師派遣など、学校のニーズにあわせた支援を実施している。

志賀高原ユネスコエコパークにおいては、ESD/SDGsに関する教員研修や実践支援を各学校・教育委員会と連携して実施したほか、附属学校園と協力して、ガイド組合・観光協会が実施する環境学習プログラム改定等の支援を実施した。またユネスコエコパーク全般を対象とする取り組みとしては、6月にユネスコエコパークに関わる各地の小中学校の児童・生徒を対象に、ユネスコエコパークの制度やユネスコの活動を紹介するオンライン授業を実施し、7校160名の児童・生徒が参加した。また11月には中部地方ESD活動支援センターと連携して、ジオパークやユネスコエコパークを活用したESD/SDGsの普及推進イベントを実施した。毎年2月に開催する『成果発表&交流会』はオンライン開催とし、長野県内だけでなく全国各地のユネスコエコパークでESD/SDGsを実践する学校が参加し、日頃の学習成果を発表するとともに、交流を通じて学びを深めた。

V. 研究活動

1. 研究プロジェクト

- ・環境省重要生態系監視地域モニタリング推進事業（通称モニタリングサイト1000）：志賀高原「おたの申す平」の亜高山帯針葉樹林と「カヤの平」のブナ林の2箇所の森林において生態系モニタリング（樹木の個体群動態・生産量の調査、甲虫の調査）を実施（2005年より継続）。
- ・自然教育園、カヤノ平分園および魚野川源流域にセンサーカメラを設置し、ニホンジカをはじめとする中・大型哺乳類の生息状況を調査。
- ・東京大学サイバーフォレスト研究チームとの共同により、ロボットカメラにより志賀高原の動画・音声データを記録・配信。

2. 科研費

- ・クマ出没の空間的同調性にもとづく豊凶モニタリングの検討（代表）【科学研究費補助金・基盤研究（C）：研究期間 平成31～令和3年度：研究代表者 水谷瑞希】
- ・古民家を構成する里山資源の利用にみられる伝統的な知識体系とその地域多様性の解明（代表）【科学研究費補助金・基盤研究（C）：研究期間 令和2～令和4年度：研究代表者 井田秀行】
- ・樹木の花は土壌生態系へのリソースパルスとなりうるか？（分担）【科学研究費補助金・基盤研究（B）：研究期間 平成31～令和3年度：研究代表者 星崎和彦】

3. 受託研究等

- ① 志賀高原ユネスコエコパークの保全とそれを活用した持続可能な地域社会の構築に関する研究（委託研究）：山ノ内町
 - ・志賀高原ユネスコエコパークの保全活用と、それを活用した持続可能な社会の構築に資する基礎的知見を収集し、またその実現に寄与するため、(ア)志賀自然教育園における中大型哺乳類のモニタリング調査、(イ)外来植物の分布調査、(ウ)ユネスコエコパークの普及啓発に関する社会教育活動の企画協力、実施支援、(エ)ユネスコエコパーク内の小中学校におけるESD学習の支援を行った。
- ② 「自然首都・只見」学術調査研究助成「只見の古民家の建築的特徴と使用木材種の体系化」：福島県只

見町

- ・福島県只見町の伝統民家の実測調査、使用樹種の同定、周辺の植生調査、住人へのヒアリングを行った。

4. 地域連携・産学連携

① 国天然記念物「湯ノ丸レンゲツツジ群落」再生事業

- ・長野県小諸市と群馬県嬭恋村をまたぐ湯ノ丸山の環境保全活動（民間活動支援方策検討委員会の事業）の一環でレンゲツツジ個体群のモニタリング調査を実施。

5. 基礎研究

- ・ブナ林の更新動態に関する研究（調査地：カヤノ平、長野県北部・中部など）
- ・ブナの種子生産量がツキノワグマの出没パターンに及ぼす影響に関する研究（調査地：飯山市）
- ・里山の保全管理技術に関する生態学的研究（調査地：飯山市など）
- ・伝統的景観の保全に関する生態学的研究（調査地：小谷村、富山県南砺市五箇山）
- ・伝統的木造民家の生態学的研究（調査地：福島県只見町）
- ・人間と野生動物との共存に関する研究
- ・ESDによるユネスコエコパークの活性化に関する研究

6. 学会・シンポジウム発表

(1) 【国内学会】 3件

蔡 一涵・谷岡庸介・北川 徹・井田秀行・廣田 充（2021）ブナ成熟林の林冠構造を考慮したササ群落の総一次生産量. 第68回日本生態学会大会. Web 開催, 2021年3月19日

井田秀行・新井千夏（2021）富山県五箇山菅沼合掌造り集落の茅場においてカタクリ群落を成立・維持させる植生管理の形態. 植生学会第26回大会. Web 開催, 2021年10月16日

阿部伶奈・土本俊和・井田秀行（2021）福島県只見町における古民家の使用木材種の地域性. 第7回山岳科学術集会. Web 開催, 2021年12月12日

(2) 【国内研究会】 2件

水谷瑞希（2021）自然資本を活用したESD活動とは？ 自然資本を活かした人づくり・地域づくり 立山黒部ジオパーク ESD ダイアログ2021（中部地方ESD活動支援センター主催）. 大山研修センター（富山市）, 2021年11月13日

阿部伶奈・岡本誠矢・土本俊和・井田秀行（2022）只見町の古民家は何の木でつくられているのか？～2015年から2021年の調査のまとめと今後の展望～. 令和3年度「自然首都・只見」学術調査研究助成金事業・学術調査研究成果発表会（福島県只見町主催）. Web 開催, 2022年1月30日

7. 論文等

(1) 【原著論文】 6件

Hideyuki Ida (2021) A 15-year study on the relationship between beech (*Fagus crenata*) reproductive-organ production and the numbers of nuisance Japanese black bears (*Ursus thibetanus japonicus*) killed in a snowy rural region in central Japan. *Landscape and Ecological Engineering*, 17(4) : 507-514

Yihan Cai ; Takahiro Nishimura ; Hideyuki Ida ; Mitsuru Hirota (2021) Spatial variation in soil respiration is determined by forest canopy structure through soil water content in a mature beech forest. *Forest Ecology and Management*, 501 : 119673

Yihan Cai ; Yosuke Tanioka ; Toru Kitagawa ; Hideyuki Ida ; Mitsuru Hirota (2021) Gross Primary Production of dwarf bamboo, *Sasa senanensis*, in a mature beech forest with a substantial gap-mosaic structure. *Journal of Plant Research*, (134) : 209-221

Takafumi Hino ; Yuri Kanno ; Shin Abe ; et al. (Hideyuki Ida は9人目に記載) (2021) Assessing insect herbivory on broadleaf canopy trees at 19 natural forest sites across Japan. *Ecological Research*, 36(3) : 562-572

石山琴子・安江 恒・井田秀行 (2021) 志賀高原に生育するオオシラビソ個体群の年輪幅および種子生産量と気候要素の関係. 植生学会誌 38(1) : 119-129

Miles I. Peterson ; Satoshi Kitano ; Hideyuki Ida (2021) Resident spawning of Japanese smelt, *Hypomesus nipponensis*, along gravel shorelines in Lake Nojiri, Central Japan. Landscape and Ecological Engineering, 17 : 547-554

(2) 【紀要等論文・報告等】 8件

本村 健・重岡昌子・常田英士・藤井 幹・松永聡美・水谷瑞希 (2021) 長野県中野市で繁殖するチョウゲンボウメス個体の行動圏と環境利用. 志賀自然教育研究施設研究業績 58 : 1-7

水谷瑞希 (2021) 信州大学志賀自然教育園周辺における自動撮影カメラによる中・大型哺乳類相調査 : 2019年調査の結果. 志賀自然教育研究施設研究業績 58 : 9-17

水谷瑞希 (2021) 信州大学カヤノ平ブナ原生林教育園における自動撮影カメラによる中・大型哺乳類相調査 : 2019年調査の結果. 志賀自然教育研究施設研究業績 58 : 19-23

丸山 隆・井田秀行 (2021) 長野県小谷村に残る伝統的茅場の昆虫相. 志賀自然教育研究施設研究業績 58 : 25-34

安江 恒・小林 元・岩田拓記・牧田直樹・渡邊 修・山田明義・井田秀行・福山泰治郎・小田あゆみ・三木敦朗 (2021) 気候変動に対する森林の応答予測 : 西駒演習林における森林標高傾度観測拠点の形成. 山岳科学研究拠点 2020年度報告要旨集 : 25-34

井田秀行 (2021) 長野県における1998年から2020年までのブナ種子生産量のモニタリング. 山岳科学研究拠点 2020年度報告要旨集 : 62-63

水谷瑞希 (2021) 信州大学カヤノ平ブナ原生林教育園における中大型哺乳類の生息状況. 山岳科学研究拠点 2020年度報告要旨集 : 88-89

井田秀行 (2021) ササの生態, そして人との関わり～笹葺き民家の伝統的知識の継承に向けて. 笹葺き屋根に学ぶ里山の知恵 (笹葺き屋根の聞き取り調査及び地域資料調査) : 28-32

(3) 【書籍】 1件

赤羽貞幸・井田秀行・北野 聡・水谷瑞希・浜田 崇・山本岩雄・畔上不二男・渡辺隆一・朱宮丈晴 (2021) やまのうちの自然とくらし—志賀高原ユネスコエコパークとともに—. 長野県山ノ内町, 163pp

(4) 【その他】 2件

井田秀行 (2021) 北アルプス標高別葉っぱ図鑑. ワンダーフォーゲル2021年2月号 : 60-61

井田秀行・阿部伶奈・佐藤拓真・陸川雄太 (2022) 学びの場 只見町 信州大学 古民家調査. 広報ただみ 620 : 8-9

VI 施設利用状況

令和3年度はコロナ感染拡大防止対策として、本館の宿泊利用と資料館の一般開放を休止したため、これらの施設利用はなかった。